# 2024 年度春セメスター
# 科目等履修生
# 募集要項
# （科目等履修・聴講）

聖 隷 ク リ ス ト フ ァ ー 大 学

看護学部

社会福祉学部

リハビリテーション学部

国際教育学部

## はじめに（看護学部・社会福祉学部・リハビリテーション学部・国際教育学部の科目等履修制度について）

科目等履修生とは、大学におけるフルタイムの学習が難しい社会人等に、少ない時間を活用してパートタイムの形式で大学教育を受ける機会を広げることを目的に、1991 年 7 月に大学設置基準の改正によって生まれた制度です。この制度を利用することにより短期大学・専門学校卒業者等が一定の学修を積み上げた場合、大学評価・学位授与機構の行う審査によって学士の学位を取得することが可能です。本学では 1993 年 4 月から制度を設けています。変化が激しく、専門職者としての質の向上が常に求められているなか、専門職者の皆様に利用していただきたいと考えています。

（備考）

大学評価・学位授与機構とは、国立学校設置法に基づき 1991 年 7 月に設置された機関です。大学評価・学位授与機構により「基礎資格を有する者」で、「修得単位」に示す単位の修得方法によって学修し、その申請に基づき機構が行う修得単位および学修成果の審査および試験に合格した者に対し学士の学位が授与されます。

| 【基礎資格を有する者】 | | 【単位の修得、学習成果の作成】 | | 【審査】 | | 【学位授与】 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ○短期大学卒業者<br>○高等専門学校卒業者<br><br>○大学に 2 年以上在学し 62 単位以上を修得した者<br>○専門学校修了者※<br>など<br><br>※専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第 132 条の規定により大学に編入学することができるもの | → | 〈単位の修得〉<br>・大学<br>科目等履修生等<br>・短期大学専攻科<br>（本機構認定）<br>・高等専門学校専攻科<br>（本機構認定）<br>・大学専攻科<br><br>〈学修成果の作成〉<br>・レポート等の作成 | 申請 → | 大学評価・学位授与機構<br><br>修得単位の審査<br><br>学修成果・試験の審査 | 合格 → | 学士 |

科目等履修により、看護師、保健師、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の国家試験受験資格は得られませんのでご注意願います。詳細は大学評価・学位授与機構に直接お問い合わせください。

**大学評価・学位授与機構**
TEL 042-307-1500（代表）
URL http://www.niad.ac.jp/

# 科目等履修制度（看護学部・社会福祉学部・リハビリテーション学部・国際教育学部）

**本学の科目等履修制度には、単位認定を希望する履修（科目等履修）と、単位認定を希望しない履修（聴講）があります。**

## 1. 履修資格

科目等履修が認められるのは、次の各号のいずれか一つに該当する方です。

(1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者
(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
(3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの
(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
(5) 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
(6) 文部科学大臣の指定した者
(7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
(8) 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
(9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

## 2. 出願書類

出願に必要な書類は下記のとおりです。出願を希望される方は希望の学部・科目をご検討の上、教務事務センターまでお申し出ください。履修ご希望科目のシラバスと時間割(予定)を折り返しお送りします。

1. 科目等履修生願書〔本学所定の様式〕
2. 履歴書（写真貼付のこと）〔本学所定の様式〕
3. 希望理由書〔本学所定の様式〕（※1）
4. 最終学校の卒業証明書（発行者が厳封したもの）

(※1)看護学部科目およびリハビリテーション学部科目を履修希望の方は、「履修の目的及び履修に対しての私の姿勢」について 800 字程度でお書きください。（社会福祉学部科目および国際教育学部科目を履修希望の方は希望理由書の提出は必要ありません。）

複数の学部にわたって出願する場合は、それぞれの学部に、出願書類に出願料を添えて申し込んでください。なお、重複して提出する書類については、写しでも差し支えありません。
また、複数の学部にわたって科目を履修する場合は所属学部を一つに定めます。

※本学所定の様式は、本学ホームページ「地域・一般の方→科目等履修」からダウンロードできます。

**3. 出願方法**

科目等履修生、聴講生に出願を希望する方は、あらかじめ出願する学部ごとに出願料 3,000 円を下記の金融機関に振り込んだ上、出願期間内に上記出願書類を教務事務センターに提出してください。

| | |
|---|---|
| 振込先金融機関 | 静岡銀行浜松営業部　（普通預金 1638461 ） |
| 受取人 | 学校法人（ガッコウホウジン）　聖隷学園（セイレイガクエン）<br>理事長（リジチョウ）　長谷川了（ハセガワリョウ） |

※振り込みの際、振込人氏名は出願者本人にしてください。

**4. 出願期間**

2024 年 3 月 4 日（月）～ 3 月 8 日（金）

**5. 履修許可の連絡**

履修の許可に関する通知は 2024 年 3 月 22 日(金)頃に発送します。ただし、早期に許可の確認が必要な方はご連絡ください。

**6. 履修手続き**

履修許可の連絡後、3 月 29 日（金)までに履修料を納付してください。なお、納付された出願料および履修料は理由のいかんにかかわらず返還いたしませんので、あらかじめご了承ください。

履修料（1 単位につき）

| | |
|---|---|
| 全学共通科目 | 20,000 円（2 単位科目は 40,000 円） |
| 看護学部科目 | 25,000 円（2 単位科目は 50,000 円） |
| 社会福祉学部科目 | 15,000 円（2 単位科目は 30,000 円） |
| リハビリテーション学部科目 | 23,000 円（2 単位科目は 46,000 円） |
| 国際教育学部科目 | 18,000 円（2 単位科目は 36,000 円） |

**7. 履修単位について**

科目等履修･･･単位認定を希望する場合

科目等履修生は授業科目を履修し、その試験に合格すると、所定の単位が取得できます。合格した科目については、本人の請求により履修科目の単位修得証明書を発行します。

また、修得した単位は、本学に改めて入学した場合に、学則第 38 条により単位認定します。

聴講･･･単位認定を希望しない場合

聴講生は授業科目の試験を受けることはできません。

## 8. 科目等履修対象科目について

2024 年度春セメスターにおいて募集する科目等履修生の対象科目は、下記のとおりです。
※在学生の履修状況によっては受け入れできない場合がありますのでご了承ください。

【全学共通科目】

| 区分 | 科目名 | 単位数 | 時間数 |
|---|---|---|---|
| 教養基礎領域 | 聖隷の理念と歴史 | 2 | 30 |
| | キリスト教概論 | 2 | 30 |
| | キリスト教倫理 | 1 | 15 |
| | 哲学 | 2 | 30 |
| | 文学 | 2 | 30 |
| | 心理学 | 2 | 30 |
| | ジェンダー論 | 2 | 30 |
| | 生活福祉文化論 | 2 | 30 |
| | レクリエーション概論 | 2 | 30 |
| | 音楽 | 1 | 30 |
| | 健康スポーツ論 | 1 | 15 |
| | 健康スポーツ実践 | 1 | 30 |
| | スポーツⅠ | 1 | 30 |
| | スポーツⅡ | 1 | 30 |
| | 法学 | 2 | 30 |
| | 日本国憲法 | 2 | 30 |
| | 経済学 | 2 | 30 |
| | 教育学 | 2 | 30 |
| | 社会学 | 2 | 30 |
| | 現代コミュニティ論 | 2 | 30 |
| | 生物学 | 2 | 30 |
| | 日本語表現法 | 2 | 30 |
| | 情報処理※ | 1 | 30 |
| | 英語Ⅰ | 1 | 30 |
| | 英語Ⅴ | 1 | 30 |
| | 中国語 | 1 | 30 |
| | 現代の国際社会 | 2 | 30 |
| | 文化人類学 | 2 | 30 |
| | 国際支援入門（集中講義） | 1 | 15 |
| | ボランティア論 | 1 | 15 |

※PC 必携です。

【看護学部科目】

| 区分 | 科目名 | 単位数 | 時間数 |
|---|---|---|---|
| 教養基礎領域 | 物理学 | 2 | 30 |
| | 化学 | 2 | 30 |
| 専門基礎領域 | 保健統計学 | 2 | 30 |
| | 公衆衛生学 | 2 | 30 |
| | 保健医療行政論 | 2 | 30 |
| | 生涯発達心理学 | 2 | 30 |
| | 臨床心理学 | 2 | 30 |
| | 解剖学Ⅰ | 2 | 30 |
| | 生理学Ⅰ | 2 | 30 |
| | 病理・病態 | 1 | 30 |
| | 疾病・治療学Ⅰ | 1 | 30 |
| | 疾病・治療学Ⅱ | 2 | 30 |
| 看護専門領域 | 看護学原論Ⅰ | 2 | 30 |
| | 地域包括ケア看護論 | 2 | 30 |

【社会福祉学部／国際教育学部共通科目】

| 区分 | 科目名称 | 単位数 | 時間数 |
|---|---|---|---|
| 社会福祉学部／<br>国際教育学部共通科目 | 英語Ⅲ(SW・EC) | 1 | 30 |
| | 児童・家庭福祉論 | 2 | 30 |
| | 知覚・認知心理学 | 2 | 30 |
| | 学習・言語心理学 | 2 | 30 |
| | 社会・集団・家族心理学 | 2 | 30 |
| | 心理学的支援法 | 2 | 30 |
| | 健康・医療心理学 | 2 | 30 |
| | 教育心理学（教育・学校心理学） | 2 | 30 |
| | 産業・組織心理学 | 2 | 30 |

【社会福祉学部科目】

| 区分 | 科目名称 | 単位数 | 時間数 |
|---|---|---|---|
| 教養基礎科目 | 心理学概論 | 2 | 30 |
| 学科共通科目 | 地域福祉論Ⅰ | 2 | 30 |
| 社会福祉学科科目 | 社会福祉学概論Ⅰ | 2 | 30 |
| | ソーシャルワーク総論Ⅰ | 2 | 30 |
| | ソーシャルワーク論Ⅱ | 2 | 30 |
| | 社会保障論Ⅰ | 2 | 30 |
| | 高齢者福祉論 | 2 | 30 |
| | 障害者福祉論 | 2 | 30 |
| | 公的扶助論 | 2 | 30 |
| | 精神保健福祉制度論（※） | 2 | 30 |
| | ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ | 2 | 30 |
| | 精神障害リハビリテーション論 | 2 | 30 |
| | 精神医学Ⅱ | 2 | 30 |
| | 精神保健Ⅰ | 2 | 30 |
| | スクール（学校）ソーシャルワーク論 | 2 | 30 |
| | 発達と老化Ⅰ | 2 | 30 |
| | 発達と老化Ⅱ | 2 | 30 |
| | 認知症の理解Ⅰ | 2 | 30 |
| | 認知症の理解Ⅱ | 2 | 30 |
| | 障害の理解 | 2 | 30 |
| | こころとからだⅠ | 2 | 30 |
| | こころとからだⅢ | 2 | 30 |
| | ライフサイクルとソーシャルワーク | 2 | 30 |
| | ジョブコーチ論 | 1 | 15 |
| | トップマネジメント論 | 1 | 15 |
| | 児童・家庭支援とソーシャルワーク | 2 | 30 |
| こども教育福祉学科科目 | 教育課程論 | 2 | 30 |
| | 道徳理論と指導法 | 2 | 30 |
| | 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 | 2 | 30 |
| | 教育方法・技術論 | 2 | 30 |
| | 理科指導法 | 2 | 30 |
| | 図画工作科指導法 | 2 | 30 |
| | 家庭科指導法 | 2 | 30 |
| | 英語指導法 | 2 | 30 |
| | 保育内容総論 | 2 | 30 |
| | 障害児保育 | 2 | 30 |
| | 国際バカロレア教育方法論 | 2 | 30 |
| | 国際バカロレア教育学習アセスメント | 2 | 30 |
| | 多様な子どもの理解 | 2 | 30 |

（※）「精神保健福祉制度論」は秋セメスターまでの通年科目です。

【リハビリテーション学部科目】

| 区分 | 科目名 | 単位数 | 時間数 |
|---|---|---|---|
| リハビリテーション学部共通 | | | |
| 専門基礎科目 | 解剖学 | 2 | 30 |
| 理学療法学科・作業療法学科共通 | | | |
| 専門基礎科目 | 運動器解剖学 | 2 | 30 |
| 理学療法学科 | | | |
| 専門科目 | 理学療法概論 | 2 | 30 |
| | 基礎理学療法学 | 2 | 30 |
| 作業療法学科 | | | |
| 専門科目 | 職業リハビリテーション学 | 2 | 30 |
| | 発達領域作業療法学演習 | 1 | 30 |
| 言語聴覚学科 | | | |
| 専門科目 | 失語症学 | 2 | 30 |
| | 摂食嚥下障害学概論 | 2 | 30 |

【国際教育学部科目】

| 区分 | 科目名称 | 単位数 | 時間数 |
|---|---|---|---|
| 国際教育学部科目 | 教育原理 | 2 | 30 |
| | 教職概論（国際教育学部） | 2 | 30 |
| | 国際バカロレア教育入門 | 2 | 30 |
| | 幼児理解の理論と方法 | 1 | 15 |
| | 国語科指導法 | 2 | 30 |
| | 算数科指導法 | 2 | 30 |
| | 社会 | 2 | 30 |
| | 生活 | 2 | 30 |
| | 家庭 | 2 | 30 |
| | 体育 | 1 | 30 |
| | こどもと健康 | 1 | 15 |
| | こどもと言葉 | 1 | 15 |
| | こどもと環境 | 1 | 15 |
| | 保育内容（健康） | 2 | 30 |
| | 保育内容（言葉） | 2 | 30 |
| | 保育内容（人間関係） | 2 | 30 |
| | 保育原理 | 2 | 30 |
| | 社会福祉論 | 2 | 30 |
| | 社会的養護Ⅰ | 2 | 30 |
| | 子どもの保健 | 2 | 30 |
| | 乳児保育Ⅰ | 2 | 30 |

聖隷クリストファー大学
教務事務センター
〒433-8558
静岡県浜松市中央区三方原町 3453
TEL 053(439)1433／FAX 053(437)6782
E-mail：cl-office@seirei.ac.jp